

(4) 愛される名前でスポ少から地域のクラブへ

～とまこまい・ぬま・あそび塾(北海道苫小牧市)

1. 少年少女スポーツクラブ連絡会による拡がり

苫小牧市東部にある沼ノ端(ぬまのはた)地区では、平成12年頃より、地域の急激な人口の増加や環境の変化に対応していくため、以前からある多くのスポーツ少年団(以下、スポ少)やスポーツクラブによる「沼ノ端地区少年少女スポーツクラブ連絡会」を組織し、道や市の事業に積極的に参加してきました。

以前からの団体では、当初アスリートを目指すために行っていたこともあるためその精神は残しつつも、この連絡会により、スポ少の団員でない子供たちもフリー会員として広く受け入れて教室や大会を実施することができるようになってきました。

2. ユニークなネーミングの由来

数あるスポーツクラブの中でひととき目を引くのが、「とまこまい・ぬま・あそび塾」のユニークなネーミングです。

「とまこまい」は北海道苫小牧市を、「ぬま」は苫小牧市の東部に位置しクラブの活動地域である沼ノ端地区を、「あそび塾」の「あそび」は”スポーツ”を意味しています。

「あそび」はスポーツの根源であり、あそび文化の中で身体運動を行いながらルールを学ぶところからきています。「塾」はクラブを意味しています。もうひとつ、学習塾へ行っていない子供たちが“僕も「塾」へ行ってるよ”と言えるようにしたかったのです。

3. 増加する人口とクラブの役割

平成14年に14,800人だった地域の人口は19年には21,101人と40%以上増え、現在も増加しています。1校ずつだった小・中学校も今は小学校3校、中学校2校に増え、今後も増える予定です。子ども数の増加にともない、「とまこまい・ぬま・あそび塾」の役割はますます大きくなっています。

平成20年より、関係者の勧めで文部科学省及びスポーツ振興くじの助成を受けることになり、地域のスポーツ振興や地域づくり・人づくりの一端を担うクラブとして新たなステップに立ちました。

クラブの役員には各自治会役員、小・中学校の校長・教頭・教員・PTA役員などが名を連ねた強力な支援体制が築かれ、また地域住民・地域企業への説明会やアンケートの結果などが現在の活動計画の根拠になっています。設立後、NPO法人格の取得に向けて活動を展開する予定です。

4. 「企業派遣指導者」制度の開始

クラブでは、「企業派遣指導者」制度がはじまっています。スポ少を卒業し、企業に籍を置いた人たちが指導者として団やクラブにかかわっていただけるように、クラブが企業に対し人材の買い上げ(時間の買い上げ)を行い、勤務を気にせず指導ができる体制を作ろうとしています。

これは、指導者としての生涯スポーツであり、企業スポーツ衰退の歯止めとなり、新しいビジネスの実現につながることから考えたことです。現在、陸上競技で試行中であり、将来は他の種目にも広げたいと考えています。

(白井 修 北海道クラブ育成アドバイザー)

【とまこまい・ぬま・あそび塾・プロフィール】

1. 設立

設立年 …平成 22 年 2 月 予定

母体 …地域スポーツ少年団

経緯 …スポーツ少年団やスポーツクラブを基盤とした組織への地域の協力から

2. 地域

人口 …約 22,000 人 (市全体約 173,000 人)

特性 …苫小牧東部の大規模複合工業地域で大企業の進出がみられ人口が増加中

3. クラブ

会員数 …500 名以上

予算規模…約 200 万円 (助成金含む)

特 徴 …トップアスリートの育成・あそび文化の尊重・行うスポーツから手伝えるスポーツへ
(企業からの人材派遣ビジネス)

4. 連絡先 …〒059-1364 北海道苫小牧市沼ノ端 255-161

とまこまい・ぬま・あそび塾代表 しま
島 ぎき
崎 つる
鶴 まつ
松

Tel. 0144-55-0940 Fax. 0144-55-1818 E-mail: tm-shima@beige.plala.or.jp

関連リンク：白井修氏プロフィール紹介

<http://www.japan-sports.or.jp/local/outline/adviser/1.html>

【クラブの活動写真】



スポーツ交流会(リレー)



少年サッカー大会



ランラン(RunRun)
陸上教室 in あそび塾